



さらなる感染防止に取り組んでいきます

生徒の皆さん、そして保護者の皆さま、臨時休業期間中は不安な気持ちで過ごされたことと思います。ようやく学校を再開できることとなりました。しかしながら、今はまだ素直に再開を喜ぶことはできません。今まさにウイルスと闘っている人もいます。そして学校再開を迎えた今も不安な気持ちや複雑な思いを持って過ごしてみえる人もいます。いろいろな気持ちが混ざり合った学校再開となっています。こんな時だからこそ、一人一人がみんなの安心感につながる行動をとることが大切です。身体的な距離は確保するものの、心と心の距離、人と人とのつながりを一層深めながら、今のこの時期を一緒に乗り越えていきましょう。

SNS等で、感染者や濃厚接触となった人、検査を受けた人を特定しようとしたり、誹謗中傷やうわさ、デマなどを鵜呑みにしたり、不用意に拡散したりといったことがないよう、ご理解をいただくとともに、引き続き冷静な対応をお願いします。

学校では、これまで以上に感染防止に取り組んでいきます。生徒の皆さん、保護者の皆さまのご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

1 毎朝の健康観察では、

- 健康観察カードに自覚症状として、「味覚、嗅覚異常」の欄を設けました。毎朝、自分の健康状態を保護者の方といっしょに観察し、必ず体温を測りカードに記入し、提出をお願いします。
- 熱っぽい（平熱に比べ体温が高い）、のどが痛い、頭が痛い、おなかの調子が悪い、体がだるいなど、少しでも体調に変化がある場合は、大事をとってご家庭で休養してください。出席停止の扱いとさせていただきます。
- 登校に不安を感じるようであればその旨学校へ連絡をいただき、この場合も出席停止の扱いとさせていただきます。

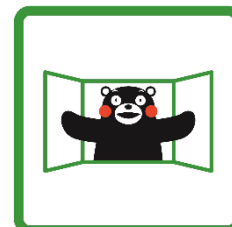


2 登下校時も必ずマスクを着用します



3 授業での感染防止に努めます

- 教室では可能な限りお互いの距離を確保し、文部科学省が示す情報をもとに、出入り口の上の窓を全開にし、対角線上の窓と出入り口を数10cm開け、常時換気を徹底します。
- 各階の非常階段への出入り口や多目的ホール等の窓をあけ常時換気を行います。
- 極端に寒い日や風の強い日など運動場側の窓を閉めた場合は、廊下側の窓を開けることで間接的な換気を行います。
- 寒い日などは服装を工夫し防寒対策をしながら、生徒の皆さんも教室の換気に協力をお願いします。
- 当面は、ペア学習や班になったの活動は行いません。共用物を使用した際の手洗いや手指消毒を徹底します。



換気をするモン

4 マスクを外す場面では、

- マスクを外す場面では感染リスクが高くなるということを理解し、お互いの距離を取り、会話をひかえます。特に給食時は黙食とします。
- 体育の活動時は、活動量に合わせてマスクを外すことも可能です。心配な人はマスクを着けたまま活動をしてかまいませんが、息苦しいときなどはマスクを外しましょう。先生の指示が

あったときは必ずマスクをつけます。

- ・ 更衣をするとき、運動場や体育館へ移動する時、活動後は必ずマスクをつけ、会話を控えます。

5 当面、部活動（朝練習を含む）は中止とします

- ・ 2月1日（月）までは、部活動を中止とします。2日（火）から活動を再開しますが、県内の感染状況によっては引き続き活動を中止する場合があります。
- ・ 部活動においても、更衣をするとき、運動場や体育館へ移動する時、活動後は必ずマスクをつけ、会話を控えます。
- ・ 一度に部室へ入ることができる人数を5人とし、部室では必ずマスクを着け、会話をひかえ、できる限り短時間で部室から出るようにします。
- ・ 再開後、室内競技の部活について、本県の緊急警戒宣言が発表されている期間は、外でのトレーニングを組み合わせるなど密を避ける工夫をします。



6 その他の活動場面で

- ・ こまめに手洗い、手指消毒を行います。毎日ハンカチは取り換えます。
- ・ お互いにフィジカルディスタンスを心がけます。
- ・ その他、現在学校では感染防止の観点から、冷水器の使用を中止しています。冬場であっても水分補給は必要です。水筒を持参しましょう。
- ・ 今月末まで、生徒による清掃活動は中止とします。（教室の簡単清掃とします。）ゴミを出さないよう心がけ、特に使ったティッシュやマスクは袋に入れ、持ち帰るようにしましょう。
- ・ 心配なこと、困ったことがある人はおうちの人や先生に相談してください。スクールカウンセラーに相談することも可能です。その際は、担任の先生あるいは養護教諭に申し出てください。



感染症対策の基本、まずは手洗いです

以前の学校だよりに掲載した手洗いのタイミングです。学校再開にあたり、改めてこまめな手洗い、手指消毒をお願いします。

今回の対策の中では、ウイルス対策の基本である手洗いの習慣化がポイントです。

ある調査によると、人は無意識に1時間に平均23回顔を触っているそうです。そのうち、感染の可能性が大きい目、鼻、口などが約44%を占めているそうです。手についたウイルスからの感染を防ぐためにも、手洗いを習慣化することは重要です。手指消毒用のアルコールの入手が困難な状況が続く中（現在はこうした状況も解消されつつあります）、石鹸での手洗いは、アルコール消毒と同等の除菌効果があります。

学校生活の中での手洗いのタイミングとして、次の場面での手洗いを徹底しましょう。

- ① 登校時（外からのウィルスを持ち込まない） ② トイレの後
- ③ 給食の前後 ④ 掃除の後 ⑤ 咳やくしゃみ、鼻をかんだ後
- ⑥ 不特定多数の人が使った共用物を触った後（音楽・美術・体育・技術・家庭科・理科などの学習で使う用具、部活動で使う道具など）

手洗いをこまめにするためにも、清潔なハンカチ・タオルが必要です。（通常時より手洗い回数が増えます。毎日交換することも必要です。）帰宅後の手洗いも忘れずに！

業者の方に、教室等の消毒をしていただきました。



お気づきのこと等がありましたら、学校へご連絡、ご相談ください。

毎日のお知らせや、子どもたちの学校での様子をホームページに掲載していますのでご覧ください。
ホームページアドレス
<http://ednet.res-edu.ed.jp/c-minamigaoka/>

